

**無人島アドベンチャーキャンプ2021**  
～大自然の厳しさを 素晴らしさを すべてで感じよう 仲間と共に～

**開催要項**

1 趣 旨

子供たちにとって、科学技術の急速な進歩や経済の発展に伴い、生活水準が向上し、便利な生活が送れるようになった。その反面、都市化や情報化の進展に伴い子供たちの様々な生活体験が不足し、社会性の未熟さや精神的な自立の遅れ等が課題となっている。さらには新型コロナウイルスによるパンデミックは子供たちに不安やストレスを与え、社会活動を制限させたことで、これまで以上に子供たちは仲間との交流が希薄になり、様々な体験活動の場が失われつつある。そのため、集団活動を通じたコミュニケーション能力の開発や他人を思いやる心の醸成など豊かな人間性の育み、自然の中での様々な体験（自己決定の場）を通じた自己達成感の獲得や精神的な自立の促進など、集団での体験活動は子供たちにとってとても重要となる。

無人島における集団生活は、豊かな自然環境に恵まれ、様々な体験活動ができる大きな可能性を持つ反面、「不便」「不足」「不自由」な厳しい生活環境となる。その中で、全国から集う仲間たちと協力し、対峙する困難を乗り越えることで、協働することや挑戦することの大切さを学ぶことができる。自然の中で生きる厳しさを感じ自分を見つめ直すことで、家族・仲間への感謝の念が育まれるとともに、無人島で生きる技能を学び、その実践を通して自己達成感や自信を持たせることで主体性・自立心を高めることができる。さらに都会の環境とは全く違う無人島という大自然の中で生きることにより、人間も自然の一部であり自然の中で生かされていると感じることは、豊かな人間性が育まれるものと考えられる。

一方、毎年のように起こる自然災害から身を守り、被災後の生活を乗り切る能力となる防災教育の場として、さらには世界が直面している貧困や飢餓、格差や差別、自然環境問題などを解決していくためのSDGs(持続可能な開発目標)の観点からも無人島生活で得ることは非常に意義深いものである。また新型コロナウイルスのような世界規模の危機に直面した時に普段とは違う生活にどのように適応し生きていくか、そのために大切な事は何かということも無人島生活を通して考える場としていきたい。無人島アドベンチャーキャンプを通して子供たちが大自然の厳しさと素晴らしさを感じ、将来に向かうための「生きる力」をつけることを期待し、本事業を実施する。

2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家

3 後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社

4 期 日 令和3年 7月26日(月)～8月1日(日) 6泊7日

5 場 所 国立沖縄青少年交流の家キャンプ場および渡嘉敷村儀志布島

6 対 象 小学5年生～中学3年生

7 定 員 24名(小学生12名、中学生12名)

8 内 容 (1) 無人島での生活(班別活動、ソロ活動)  
大型カヌーでの上陸、漁労活動、野外炊事、無人島内散策等  
(2) 無人島生活に必要なスキル「生きる」技能の習得  
ビバークテント設営、スノーケリング、魚釣り、魚さばき、貝取り、塩づくり、火起こし等

9 日 程

月 日(曜)	活 動 内 容			活動 場所
	午 前	午 後	日没後	
7月26日(月)	泊港から渡嘉敷港へ 開校式 アイスブレイク	班の話し合い(ルール、役割等) 大型カヌー、スノーケル研修 装備品パッキング、火起こし等	班での話し合い ビバークテント設営研修 ふりかえり	キャン プ場
7月27日(火)	儀志布島へ移動 (9:30) 大型カヌーにて移動	島内散策(地形、危険箇所) 漁労講習会・救命法講習会 食器づくり	ボンファイヤー ふりかえり 無人島での目標設定	布 儀 島 志

7月28日(水)	班別活動 漁労活動、塩づくり	班別活動 漁労活動	ボンファイヤー ふりかえり	儀 志 布 島
7月29日(木)	班別活動 漁労活動、塩づくり	班別活動 漁労活動	ボンファイヤー ふりかえり	
7月30日(金)	班別活動 漁労活動 ※素潜り体験	ソロ活動準備	ソロ活動 (18:30～翌7:00)	
7月31日(土)	班別活動 ソロ活動ふりかえり 漁労活動 ※素潜り体験	班別活動 漁労活動 分かち合いの集い準備	分かち合いの集い	
8月1日(日)	機材撤収 移動(船) (7:30) 機材片付け	ふりかえり アンケート・感想文記入	渡嘉敷港から那覇泊港へ 無人島キャンプ報告会 ～解散～	キャン プ場 那覇 市内

10 参加費 12,000円(食事代、保険代、Tシャツ代、雑費等)  
上記以外に泊～渡嘉敷間の往復船舶代として小学生1,520円、中学生3,040円  
が必要になる。※すべて渡嘉敷島で徴収する。

11 申込み **令和3年6月7日(月)～~~6月14日(月)~~ ※6月28日(月)まで延長(必着)**  
別紙の参加申込用紙に必要事項を記入の上、下記までMail、FAXまたは郵送での申込み。(Mail、  
FAXでの申込みの際は送信後、電話での確認を募集要項で伝える。) ※電話確認時間9:00～17:00  
※応募者が多数の場合は、様々な年齢、地域、学校から参加できるよう、学年・性別・地域や学校など  
を考慮し、厳正な抽選を行う。また、申込書の「無人島アドベンチャーキャンプの目標」を記入(本  
人直筆)してもらおう。  
※参加決定のお知らせは、受付締め切りから10日以内の必要書類発送をもってかえる。  
※定員に空きがある場合には継続して受付をする。

12 持ち物

- ・体調管理シート ・着替え ・水着(ラッシュガード:長袖) ・マリンシューズ(運動靴でも可)
- ・帽子 ・タオル ・サンダル(クロックス型は砂をかんで不便です) ・軍手 ・雨合羽 ・洗面用具
- ・水筒(1.0～1.5リットルペットボトル可) ・リュックサック ・ヘッドライト(頭部装着用ライト)
- ・予備乾電池(ヘッドライト用) ・筆記用具 ・健康保険証(写し可) ・日焼け止めクリーム
- ・サングラス ・常備薬 ・マスク(移動や開校式、報告会等で使用)
- ・参加費(渡嘉敷島で初日に徴収する) ※水泳帽は交流の家で準備する。

**※上記の物以外は持ってこないよう募集要項へ明記する。**

### 13 参加における留意点

- ・那覇市泊港「とまりん」まで**保護者での送迎**を原則とする。  
【送り】7月26日(月)9:00に受付し、その後に乗船券を配布する。渡嘉敷島までは交流の家職員  
が引率する。  
【迎え】8月1日(日)17:40 とまりんターミナルビル地下1階・会議室B(那覇市)にて報告会(17:40  
～18:50)を行う。
- ・**集団活動を乱す、指導者の指示に従わない等がある場合は、主催者側の判断により、プログラム途中  
での保護者への引き渡しもある。その際は、保護者に那覇市泊港まで迎えに来てもらう。**
- ・天候によって日程の短縮、宿泊場所の変更が生じる場合がある。
- ・特別に体を鍛えたり、豊富なキャンプ経験などの必要はないが、参加者は健康であることが必須条件  
になる。参加決定者には後日、問診票を提出してもらおう。(問診票の内容によっては、医療機関発行の  
健康調査票を提出してもらおう。)
- ・キャンプ中は十分な水分補給が可能であるが、漁労活動の状況等によっては、多少空腹で過ごすこと  
も考えられる。また、食材は捕獲した魚や貝が中心となり、**食物アレルギー等への対応は困難**である。
- ・**無人島を楽しむ企画ではない。**厳しい生活環境の中、様々な困難を乗り越える体験を重視したプログ  
ラムになる。そのため、無人島での生活を含む7日間を集団で生活する「このキャンプに参加したい」  
という**本人の強い意志**が必要となる。

#### 1 4 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における留意点

- ・参加者は事業2週間前から体調管理シートを用いて自己管理を行う。
- ・事業中は、感染のリスクが高い活動（食事、排泄、話し合い活動など）については消毒やお互いの距離を取るなど可能な限りの対策を行いながら実施する。
- ・事業中は起床後と就寝前に体温測定と健康観察を行い、参加者の健康維持を図る。

#### 1 5 新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い

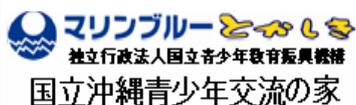
- ・今後の感染拡大の状況によっては開催の中止もあります。
- ・発熱等の諸症状がみられる場合は、参加を取りやめていただくようお願いいたします。
- ・お住まいの自治体に往来自粛の要請等が出ている場合は、事業への参加を御遠慮していただきます。

※調査、研究のためのアンケート等にご協力ください。

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。ご承諾いただけない場合は事前に事業担当者へご相談ください。



問い合わせ：国立沖縄青少年交流の家 主任企画指導専門職 中里昭夫

〒901-3595 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷2760

TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318

HP <https://okinawa.niye.go.jp/> Mail okinawa@niye.go.jp